



はまなす季刊

医療法人はまなすHP ▶▶▶ <http://www.hamanasugeka.com>

医療法人
はまなす **篠路はまなすクリニック**
〒002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号
TEL (011)776-3030・FAX (011)776-3001

医療法人
はまなす **はまなす医院**
〒061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1
TEL (0133)64-6622・FAX (0133)64-6555

巻頭言

ハクチョウと 地球温暖化

副理事長 工藤 立史

4月上旬、石狩市郊外でハクチョウの群れを見かけました。東北・北陸地方で越冬したものが、3月になると繁殖地であるシベリアを目指して旅立ちます。石狩はその渡りの中継地になっています。

ハクチョウは雪解け水がたまった水田に嘴を突っ込んで落ち穂をついばんでいました。時折、飛び立っていく鳥達も目にしました。真っ白なその姿は、青空の下で雪の残る農村風景によく映えます。一見優雅ですが、体重10kgの体を宙に浮かせるのは容易ではありません。10mほど助走し向かい風をとらえて離陸し、片道4000kmに及ぶ長旅へ出発します。十分なエネルギーを蓄えておく必要があります、水田は貴重な餌場です。

環境省の調査によるとハクチョウは年々増加しています。理由の一つとして地球温暖化が挙げられています。シベリアのような高緯度地方でも餌となる植物がよく育つようになり、繁殖条件が良くなっているとのことです。

地球温暖化によりハクチョウが増えるというのは、何とも皮肉なことです。自然界のバランスを保ちながら、ほどよく繁殖してほしいものです。



北海道グリーンランドの観覧車

青空に向って夢も一緒に運んでくれそうな、希望が湧いてくるお気に入りの一枚です。

(原明美)

コイヘルペスウイルス

～感染症の脅威は魚類にも～

工藤 岳秋

コロナに翻弄される日々が続いていますが、ウイルス性疾患は他にも数え切れないほど存在します。痛みを伴う発疹がくちびるに繰り返される「ヘルペス」に悩まされている方はいらっしゃいませんか？これはヒトヘルペスウイルス(human herpesvirus = HHV)の一つ、HHV-1に感染することで発症します。HHVは8種類あり、他に水ぼうそう・帯状疱疹(HHV-3)、突発性発疹(HHV-6、7)などの原因となります。

実はこの「ヘルペス」、魚類の敵でもあり、サケ、ウナギ、キンギョなど、それぞれの種に特有のウイルスが存在します。中でも、コイヘルペスウイルスは2000年前後に各地で猛威を振るったことで知られています。コイ(マゴイ)は英語でcarpですが、欧米では観賞用のkoi carp(ニシキゴイ)の病気として捉えられていたため、koi herpesvirus(KHV)と命名されました。KHVの起源は定かではありませんが、ニシキゴイの輸出が盛んなイスラエルと輸入していた米国で1998年に発生していたことが論文で紹介され、活魚の取引によって世界に拡散したことが明らかになりました。

2002年にインドネシアと台湾で確認されたことを受け、わが国では2003年6月に水産資源保護法の指定伝染病、および持続的養殖生産確保法の特定疾病に指定されました。同年10月、国内初の感染が霞ヶ浦(茨城県)で発生。600トンを超える食用マゴイの大量死は養殖業者に大きな打撃を与えました。その後1年あまりで39都道府県に広がり、多摩川(神奈川県)、琵琶湖(滋賀県)など天然河川・湖沼でも被害が出る事態となりました。

症状としては目が落ち込み、えらが肥厚して壊死するのが特徴的ですが、外観だけでは診断



を確定できず、えらを検体としたPCR法でウイルスの遺伝子を検索します。ニシキゴイの販売の際にはKHV陰性の証明を要しますが、商品を傷つけるわけにはいきません。そこで、出荷する魚と3週間「同居飼育」した安価な魚を検査に用い、間接的に感染の有無を調べる「同居法」が適用されています。

治療は困難で、ワクチンも国内で認可されたものがなく、防疫が全てです。ニシキゴイの養殖には原則として湧水や井戸水を使うことになっており、河川・湖沼の水を用いる際は紫外線での殺菌が求められます。年2回のウイルス検査を行い、陽性となった場合には魚を処分し、池を消毒しなければなりません。またKHV汚染水域からコイを持ち出して他の水域に放流することが禁止されており、釣った魚を生かして持ち帰るときには注意が必要です。なお、KHVは30℃以上の環境では増殖できないため、体温36℃前後である人間が感染した魚を食しても影響はないとされます。

PCR法で診断され、ワクチンや治療薬がなく、移動が制限される…。新型コロナウイルスの脅威に直面した2年前の私たちと同じような状況ですが、これが20年近く続いているコイには同情の念を禁じ得ません。KHV対策が少しでも進歩することを切に願います。

— 参考 —

- 吉水守：魚類ウイルス病とその防疫・防除に関する研究 日本水産学会誌78、2012
- 飯田貴次、佐野元彦：コイヘルペスウイルス病 ウイルス55、2005
- 湯浅啓：コイヘルペスウイルス病 魚病研究51、2016
- KHV最新情報アップデート 鱗光633、2020
- 国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ

喉元過ぎれば...

副反応が
怖い！

工藤 立史

今年の1月、3回目の新型コロナのワクチンを接種した。当日から翌日にかけて悪寒、関節痛、発熱、倦怠感が現れた。仕事を休むわけにはいかない。ふらつく思いに耐えながらどうにか業務をこなした。接種から2日してほぼ症状が消えた。

昨年5月にも同様の症状があり、今回もこのような事態になるという恐れはあった。解熱鎮痛剤をあらかじめ用意し、乗り切るとつもりでいた。しかし、実際に3回目を打ってみると初めて経験するような強い症状を感じた。思わず「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という諺が頭に浮かんだ。

この慣用句は江戸時代中期に流行した「いろはかるた」に使われているから、起源はかなり古いのだろう。実際に熱いものを飲み込んだとき、喉を過ぎてしまえば本当に熱さを感じないのだろうか。まず熱い食物が喉に入ると突然の強い刺激を受けて反射的に食道の筋肉を緊張させ、通さなくする。やがて筋肉は緩み始め、食道を通るようになる。胃へ入って行く際に食道に鈍い熱さを感じるため、諺は厳密には不正確である。しかし、そもそも熱すぎるものを飲み込まないに越したことはない。

実は「喉元過ぎれば…」の諺は「苦しいときに助けてもらっても、楽になればその恩を忘れてしまう」の意味で使われる場合と、「過去の苦勞、失敗を忘れて過ちを繰り返してしまう」の二通りがある。今回の副反応を前者の意味で使うなら、「苦痛から解放されたことを有り難く思うが、2回目、3回目の接種にあたってはそれを忘れてしまっている」と解釈できる。後者の意味で使用するならば、「二度とワクチンを打たない」ことが喉元にひどい熱さを感じないための解決策となるのだが、そうはならなさそうである。6か月以上経つと抗体価が下がる。また新たな変異株が発生してくることを考えると、繰り返し接種を受けなければならない。気の重い話だが、同様の副反応に苦しんでいる人も大勢いる。受け入れる覚悟を持たなければならない。「のど元過ぎても、熱さを忘れず」という心構えで次のワクチンに臨もうと思う。

篠路透析センター増築部分完成

昨年7月より約10か月間、工事をしていた透析センターの増床部分を、5月2日より運用開始しております。

増築の計画をしていたのは、コロナウィルス感染第2波盛りだったと思います。当時は、工事が完成する頃には終息しており、周りの関心も薄れているのではと危惧しておりましたが、皆さんご存じの通り幾度となく変異し未だに猛威を振るっています。増築部は血液透析用ベッドを20床（感染専用2床、準感染2床、一般16床）増床しました。増築前、別棟外来エリアのベッドを使用しながら感染対策をしていましたが、透析中はスタッフ常駐が必須で、別棟という事や隔離透析対象者の増加もあり大変不便で工事完了を今か今かと待ちわびていました。現在、既に感染ベッド3床が稼働中です。ウィルス感染に終わりはありません、コロナウィルスが落ち着いてからも、インフルエンザ等さまざまな感染力の強いウィルスに罹患された患者様が利用する事になります。また、増床にあたり一般透析室の約9割がオンラインHDF対応透析となりました。

感染者用専用玄関



なお今回の増改築工事に合わせて透析後の廃液の中和装置が設置されました。近年厳格化されたエコ基準に合致しています。

工事期間中、患者様はじめ各取引先の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。皆様のご協力のお陰で、無事に完成する事ができましたことをスタッフ一同感謝申し上げます。

（袋田）



外観

大木建設KKとは最初にオープンした時から27年以上の付き合いです。

村本氏は石狩はまなす医院の第一回の増築工事のとき現場監督でした。定山溪温泉の鹿の湯ホテルの別館「花もみじ」を手掛けた直後だったそうです。当時からなかなかのダンディーでした。



謙三会長と

大木建設株式会社 札幌支店長・村本伸二氏(右)

(22.4.27 引渡し当日、増築棟でのツー・ショット)

増築工事決断、背景のウラ話

医療法人はまなす 会長 工藤 謙三

透析における感染症対策は当院においても長年にわたる懸案だった。コロナ以前からインフルエンザ、細菌性肺炎など飛沫感染は同室の患者への伝染が常に心配されていた。

当院では外来診察室の近くに2床の隔離された透析室を稼働させてはいたものの、他の患者と動線が交わっていて必ずしも安全ではない部分もあったのである。

「コロナ肺炎が蔓延したことによって感染対策の必要性が高まる中で、感染者専用の透析ベッドの確保ができないものか？」

計画にあたって、これから先ますますコロナ感染が増大した場合工事ははたして円滑に進むのか？パンデミックの中で金融機関から融資は得られるのだろうか？院内でクラスターが発生した場合はどうなるのか？などなどいくつもの「？」が頭の中をよぎった。

「じびることなく逆風に向かっていくのは賛成できる。」

岳秋理事長のこんな言葉にも背中を押された。虎穴に入らずんば虎子を得ず、という。昨年の7月に着工してから、天候にも恵まれて、工事は予定を上回るペースで順調に運んだ。特筆に値する豪雪の冬ではあ

たが、秋までに躯体は完成しており、内装と既存部分の改築は冬中に悠々と進んでいた。4月27日、予定通り建築物の引き渡しセレモニーが行われたのである。ちなみにこの一年の間にコロナ禍によって流通が停滞し、ウクライナ戦争のために建築資材の値上がり激しさを増している。今手掛けるとなれば10〜15%増になっただろうという。

今回の増築で特記すべきは、外来透析の感染者専用の玄関を北東の角に設置して一般患者およびスタッフとの動線が完全に分かれたことにある。総面積2700坪を有する当院の土地がモノを言った。結果的に篠路はまなすクリニックには7か所もの出入り口が出来上がった。

透析棟が平屋建てに徹していることの利便性と、贅沢さをかみしめている。

17年前、篠路に透析サテライトを計画した時、広大な敷地の真ん中に立って隣接するお墓を眺めながら、いったいどうなっていくのか、想像もつかないことであった。

都合70床を有する透析施設になった今、高い機能性の下に大きな発展が期待される。将来に向かってスタッフ一同の奮起勉勵を期待してやまない。

新任医師

佐藤裕二先生のご紹介

以前より出張医としてお世話になっておりました佐藤裕二先生がこの度4月1日に、当院医師として共に勤務して頂くことになりましたのでインタビューしてきました！！

先生は留萌のご出身です。小学生時代には学校への通りにニシンの番屋があって、通学の途中には屋外に数の子が干されていたそうです。友達とそれを手に取ってぶつけ合って遊んだと笑いながらお話になりました。当時のゆるやかな光景が浮かびます。

外科医としてご活躍だった中で数々の難手術を経験されましたが、中でも特別の思い出は、東日本大震災が発生したとき腸管破裂でショック状態だった患者さんの緊急手術をして無事救命したことがあります。北大第一外科の助教授を経て東京の河北病院で勤務していたころのことです。「震災発生30分後でした。東京でも地震の影響を受けており、院内のガス配管が壊れるなど手術不能という意見があった中でそれを押し切って手術しました。非常に大変でした。患者さんが治って退院していったときはうれしかったですね。」

当院の会長とは30年以上、岳秋理事長は卒業以来、今日までご指導をいただいています。特に会長とは麻酔をかけながらの手術に感心した覚えがあるそうです。

「むかし、謙三先生の手術を手伝ったことがありました。道東のS病院外科医長だったころのことですね。麻酔器につながるベンチレーターが天井から吊り下がっていて驚かしてね。足元をすっきりできるというんです。外科もさることながら麻酔科医として、今は透析もこなすという…なかなかです。」

謙三会長とは長年懇意にしていたことが判りました。

インタビューでは、最初から最後まで温かみのある雰囲気でも分かりやすい言葉を選んでお話しされました。すべてをここに紹介しきれないのが残念です。

職員一同今後お世話になります。何卒よろしくお願いいたします。

(臨床工学技士 阿部翔一)



御略歴

留萌市出身。北大1979年卒。
北大医学部消化器外科・一般外科学分野助教授。
河北総合病院副院長。北海道情報大学教授。

ひまわり

レトロな映画「ひまわり」が話題になっている。1970年に作成された伊、仏、米、露の合作映画だ。舞台となったウクライナがロシアの軍事侵攻を受けて再上映がなされている。往年のシネマファンにとって忘れもしない名画だが念のため若い人にむけて内容を述べる。

イタリアの港町で若い二人が恋に落ち新婚生活を始める。だが、まもなく第二次世界大戦が起って夫は徴兵されてしまう。やがて戦争が終わっても夫は帰ってこない。妻は意を決して夫探しの旅に出る。目的地はソビエト領内のウクライナであった。汽車を乗り継いで訪れた戦場は一望千里のひまわり畑になっていた。映像は大きな黄色い花を無数に映し出す。その地下には戦死した多数の兵士が埋められているのだ。言葉もわからず夫の写真を見せながら訪ね歩くうちにやっとの思いで再会をはたすのだがそこでは現地人の女性と子供が共に暮らしていた。彼は戦地の雪の中で倒れていたところを助けられ九死に一生を得たのであった。壊された生活は戻ってこない。ひまわり畑が地平線まで続くエンディングシーンは心に切なく残る。

私は学生だったころにこの映画を見ているがそのときはひまわりの平原がウクライナであるという認識はなかった。漠然とロシア国内の地域だと思っていたのである。

ウクライナは歴史的に、古くはロシア帝国に、1917年のロシア革命後にはソビエト連邦の支配下にあった。もともとヨーロッパのパンがごと称される豊かな地である。独裁者スターリンがここから農産物を取り上げてこれを国外に売り外貨を稼いだ。自分たちの食べる分の食料さえも奪われた農民は、600万人もの餓死者を出す。その数はヒトラーによるホロコーストのユダヤ人虐殺の400万人に比べてもはるかに多い。スターリンはヒトラーにも比肩すべき虐殺者であった。

1991年、共産主義体制は内部から崩れ落ちた。ソ連邦を形成していた国々は独立を果たし、その一つとしてウクライナも専政から解放される。それ以来およそ30年間にわたって民主主義を謳歌してきた。しかるに今プーチンの侵略を受けて悲惨な状態に置かれている。核兵器の使用をもちろつかせるプーチンの所業はスターリンの系譜であろうか。このまま軍門に下ればウクライナに明るい未来はない。死を賭して祖国を守らねばならない。

侵略と虐殺が当たり前だった時代に時計の針を逆回転させてはならないのだ。ウクライナ国民は世界の民主主義の守護神であるかのようにこれに立ち向かっている。

ひるがえって日本本土が万が一侵略を受けた場合、岸田首相はゼレンスキー大統領のように毅然として立ち上がるだろうか。国民は一致団結した行動をとれるだろうか。

現実を目を向ければ、権威主義国家の中国、北朝鮮などが虎視眈々と侵略をもくろんでいる。プーチンの顔が習近平、金正恩に重なって見える。

ウクライナのひまわりの下には多数の戦死者が眠っている。明るい花の下に埋もれた死体を想像するのは残酷である。いまではお馴染みになったウクライナ国旗は上半分が青空、下半分は豊かに実る麦の穂の平原をあらわすという。広大な黄金色の平原に平和と自由の日々は戻ってくるのだろうか。映画ひまわりが問いかけるものは限りなく重い。





昇格

主任補へ

はまなす医院
看護師
山田尚子さん

生まれは岩見沢で、成人までは炭鉱とアンモナイトで有名な三笠で過ごされました。短大では栄養学を専攻、その後事務の仕事に就きました。20代で人生のターニングポイントが訪れます。何と交通事故に遭い頸椎骨折で寝たきりとなり、半年間の入院を余儀なくされ、それを期に看護師になる決心をされました。透析室では患者さんから「今日は山田さん休み？」と聞かれるほどムードメーカーでもあり有線放送（クラシック）いらずと言われるほどです。（笑）御活躍を！（坂本）



昇格

主任補へ

篠路はまなすクリニック
看護師
萩原さとみさん

いつも明るく笑顔を振舞ってくれる元気な看護師さん。患者様に親身になって寄り添う姿勢、スタッフが困っていたら「どうしたの？大丈夫？」と明るく声を掛けてくれるやさしさあふれる看護師さんです。（阿部）



昇格

副技士長へ

はまなす医院
臨床工学技士
高藤一教さん

先の状況やリスクを見据えて、事前の準備を怠らずに計画を進められる方です。こちらの仕事に半端な部分があると厳しく指摘を受けることもありますが、その分しっかり話し合いをして連携を取れる頼りのある上司でもあります。（馬場）

お世話になりました



この度、ご縁があり6月に入籍する運びとなり退職することとなりました。

彼とは専門学校で出会い、共通の友人が開いた鍋パーティーがきっかけで連絡をとりあうようになりました。それから交際をはじめ、社会人になってからは片道5時間かけて数ヶ月に一度、釧路まで会いに行きました。コロナウイルスが流行りだしてからは、なかなか会えなくなりすれ違いが増えましたが、お互いを理解し合おうとする気持ちが強くなり、次第に結婚を意識するようになった気がします。結婚後は釧路での生活になり不安もありますが、支えあい温かい家庭を築いていきたいと思っています。約4年間ありがとうございました。

（臨床工学技士 中村彩佳）

編集後記

五月晴れが清々しい季節を迎えました。皆様どうお過ごしでしょうか。今年は記録的な大雪によって、一日中雪かきに追われ大変苦労した冬となり道路脇の雪山がいつまでも無くならないのではないかと思います。反面、スキー場は昨年と異なり

積雪量が多く4月中旬でも山頂積雪量380cmとハイシーズン並みの積雪量で5月中旬まで営業しているそうなので残りを惜しみつつ、スノーボードを満喫して参ります。

（S・A）